



水道管の凍結・破裂の対策はお早めに！

冬は水道管が凍結・破裂しやすい季節です。水道管が凍結すると、水が使えなくなるだけでなく、修理代など思わぬ出費にもつな갑니다。事前の対策を今のうちからお願いします。

凍結を防ぐ

屋外等のむき出しの水道管を保温することが有効です。

- ・保温材や凍結防止ヒーターを取り付ける。
- ・特に、風当たりの強い所、日の当たらない所に注意する。

水抜栓を設置してあるお宅では、水道管の水を抜く。

- ・元栓の閉栓だけでは管内に水が残るので、水抜栓の設置をお勧めします。
- ・水抜栓の設置や湯沸かし器、ボイラーなどの水抜き方法は、指定給水装置工事店へお問い合わせください。

このようなときはご注意ください！

外気温がマイナス4℃以下になるとき。

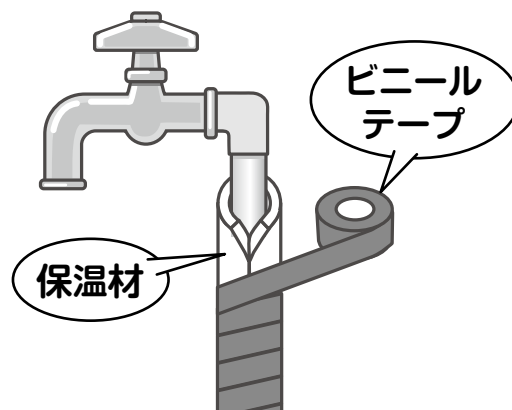
家を長期間留守にするとき。

※凍結に備えて、あらかじめ水の汲み置きをお勧めします。

保温材の取り付け方

蛇口や水道管に保温材や古い毛布などを巻きつけ、その上からビニールテープなどを巻いてください。

また、保温材等が濡れないようにしてください。



破裂の被害を防ぐために

留守にするときは、止水栓（メーター近くの元栓）を閉め、蛇口から水圧を抜いてください。

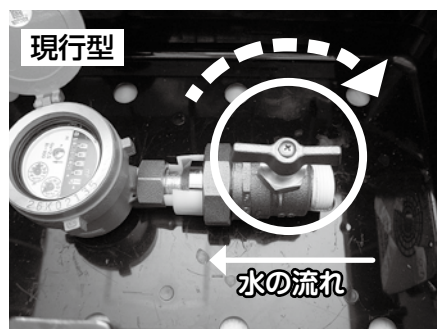
万一破裂した場合でも水の飛散被害を防ぐことができます。

漏水を発見したときは、止水栓を閉め、指定給水装置工事店へ修理を依頼してください。

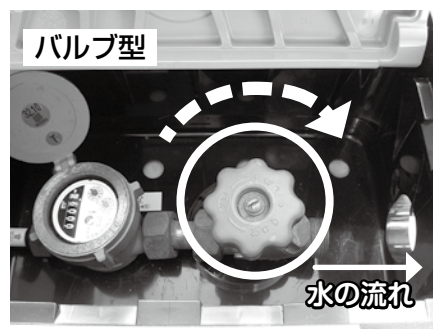
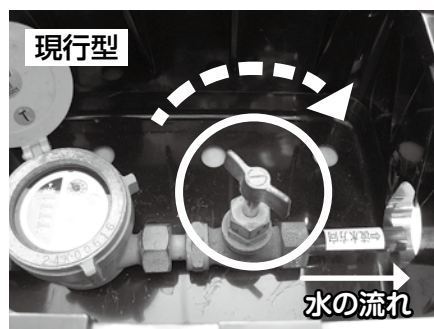
止水栓の閉め方

現行型の止水栓（蝶ハンドル）、バルブ型止水栓（水抜栓タイプ）ともに時計回りに止まるところまで回します。また、下記以外に止水栓がないものや止水方法が異なるものもあります。その場合、下記のお問い合わせ先までご相談ください。

※普段から止水栓やメーターボックスの位置の確認など管理をお願いします。



閉まるところまで、90度回すタイプと、数回回すタイプがあります。



山間部などに多い、水抜きタイプ。閉まるところまで回して水が出なくなるまで様子を見てください。

凍結してしまったら

自然に溶けるのを待つか、タオルなどをかぶせ、触っても熱すぎないぬるま湯をゆっくりかけて解凍してください。

※熱湯をかけたり、凍った蛇口などの水道器具を無理やり動かすと破損やひび割れの原因になりますので、注意しましょう。

☎上下水道課水道維持管理係 ☎55-3114